



令和6年度第16&17回講座 2025年3月22日(土)

### 「成果発表会&閉講式」



11月の講座で、令和7年3月22日に一人1枚ポスターを作って発表する場を設定していることをアナウンスしました。その際、探究を難しく考える必要はなく、自分なりの試行錯誤を楽しんでほしいということを伝えました。その探究の果てに・・・

### 「発表で、新しい価値を世の中に問う」



受講生は忙しい中、この日のために、膨大な時間をかけ素敵なポスターを準備をしています。「どうすれば気持ちよく、効率的に発表できるだろうか」スタッフもいろいろと試行錯誤ながら、発表会場を整えました。



研究者は、学会発表という場を通して、自分自身の研究内容を共有して、議論して、客観性を担保します。この取り組みは「科学者」の行動と相似形です。発表者が大切であることは言うまでもありませんが、聴衆も「一緒に新たな知見を作る、客観性を担保する」役割をになっています。この日のポスターセッションは、受講生だけでなく保護者も先生も一緒になって議論を行うことができました。受講生の記述の一部を紹介します。

研究とは、できないことを「**できる**」にする方法を考えること。  
好奇心が(研究・探究の) **原動力**になっている。  
学んだことは "**挑戦**"、"**協働**"、"**創造**"の大切さ。



修了証書の授与をもって、1年間のプログラムを終えました。受講生の皆様、保護者の皆様、1年間ありがとうございました。来年度は「MM☆」を軸にして、更なるプログラム改善を試行錯誤していきます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。